

国営緊急農地再編整備事業

宇城地区事業概要

農地の継承と
地域活性化に向けて



地域農業の特徴

本地域は、熊本県のほぼ中央に位置し、八代海に面した干拓地に広がる水田地帯であり、水稲を中心に、トマト等の施設野菜、れんこん等の露地野菜を組み合わせた営農が行われています。

また、集客力のある直売所、農産物のブランド化及び6次産業化など、地域農業が発展する高いポテンシャルを有しています。



水稲



ミニトマト



れんこん



直売所「宇城彩館」



ブランド農産物
「オレンジハート」



6次産業化
「有機トマトジュース」

地区の現状と課題

本地区の農地は江戸時代に干拓されて以降、抜本的な基盤整備がなされていないため、区画や農道がせまく、現況水路の多くが土水路である上に、用排兼用水路のため管理水位が高く、排水不良の要因となっています。

また地区の一部では、排水対策が実施されていないため、降雨時には排水不良や^{たんすい}湛水被害が生じており、効率的な農作業を行う上での妨げとなっていること等から、今後、耕作放棄地が増加するおそれがあります。



区画が不整形でせまい農地



せまい農道



整備されていない土水路



非効率的な揚水状況



排水不良の状況



湛水被害の状況

事業の目的・概要

■ 目的

本事業は、区画整理及び農業用排水（排水機場）を一体的に整備し、耕作放棄地の解消、^{かんすい}湛水被害の解消、水田の汎用化、農作業の効率化及び担い手への農地集積を進めることにより、農業の振興と地域の活性化に資することを目的としています。

■ 概要

本事業は、ほ場の大区画化を基本として、用排水路や農道なども一体的に整備するものです。

○関係市町村：熊本県宇城市

○受益面積：区画整理777ha、農業用排水425ha（区画整理と重複）

○事業期間：令和2年度～令和16年度（予定）

○主要工事計画：区画整理（道路、用排水施設含む）777ha

排水機場2か所

環境への配慮

本地域は、東部にある九州山地を背景に、八代海に面した干拓地の開放的な農村景観を有す水田地帯です。

本地域の環境は、水稻やれんこん等が作付けされる湿田と、その周囲の流れが極めて緩やかな水路を中心に成り立っており、農地や水路には希少な動植物が生息しています。

このため、本事業では、両生類や魚類、植物の生育環境に配慮した水路の整備等を行うとともに、揚水ポンプや排水機場の整備にあたっては、周辺景観との調和に配慮した整備を行います。

～本地域に生息する動植物（一部）～



両生類：カスミサンショウウオ



魚類：バラタナゴ類



植物：ハタケテンツキ

工事の内容

■ 区画整理

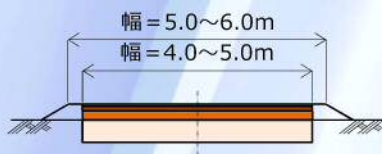
標準的なほ区の面積を2 haとし、^{あんきよ}耕区^{あんきよ}の面積を1 haの区画に整備します。併せて、道路・水路・パイプライン・暗渠排水の整備を行います。

農 地



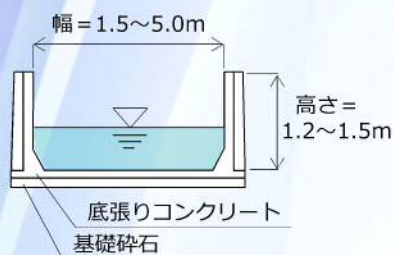
◇区画拡大による農作業の効率性向上

道 路



◇道路拡幅と舗装化による輸送、移動の効率化

水 路



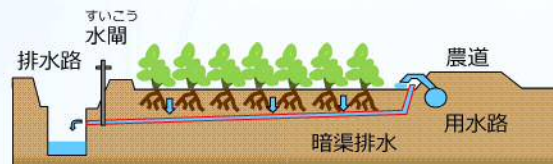
◇コンクリート製水路による排水能力の確保と維持管理作業の軽減等

パイプライン



◇用水路のパイプライン化による水管理作業の軽減

暗渠排水



◇暗渠排水の整備による排水不良の改善、水田の汎用化

■ 農業用排水

農地の^{たんすい}湛水被害の解消を図るため、排水機場を新設し、排水能力を向上させます。



◇排水ポンプによる排水能力の向上

排水機場名	排水機場規模
豊崎排水機場	6.0 m ³ /s
五丁川第2排水機場	18.0 m ³ /s

※掲載写真は、完成イメージです。

事業の効果

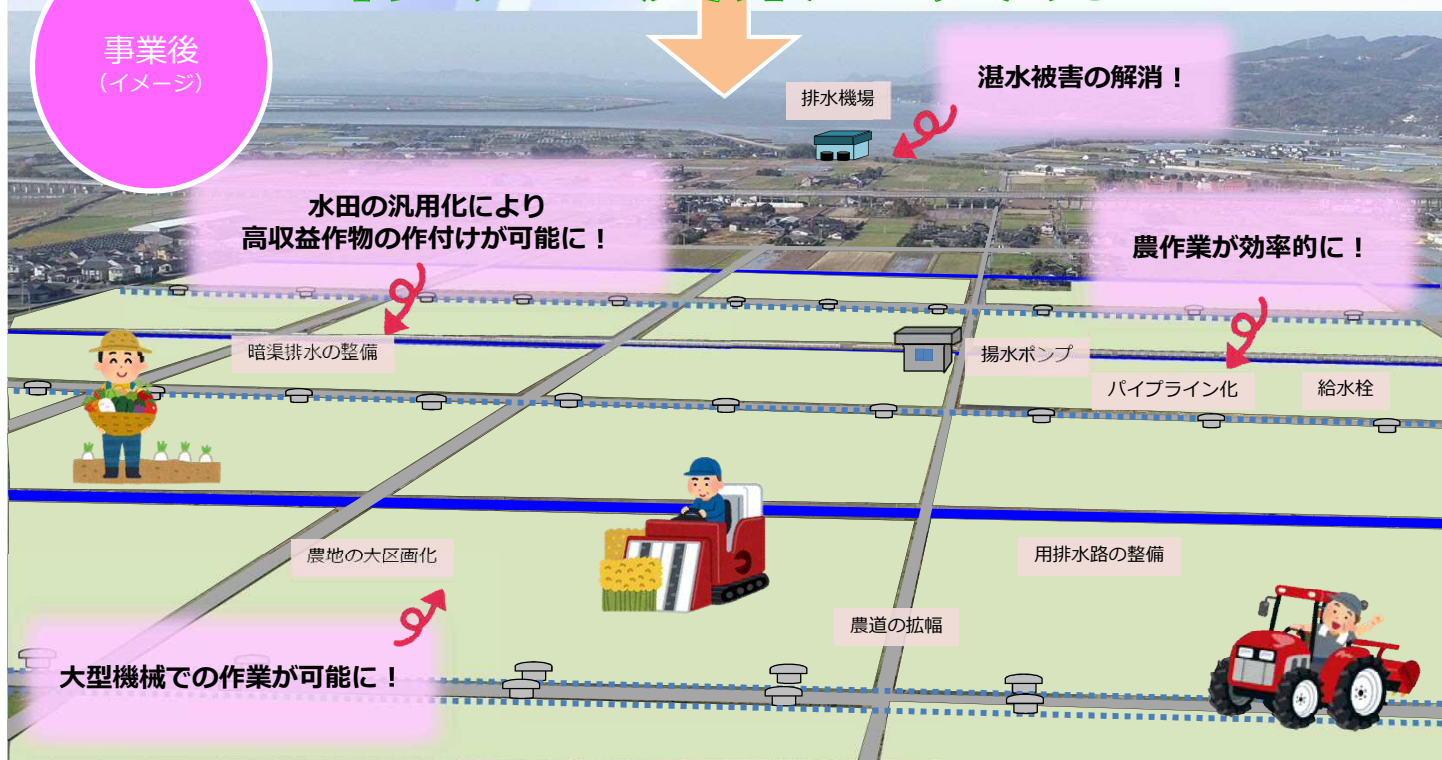
区画整理と農業用排水（排水機場）を一体的に実施することで、担い手への農地の利用集積を進め、併せて^{たんすい}湛水被害を解消し、耕作放棄地の解消・発生防止により、優良農地が確保され、生産性、収益性の向上を図り「稼げる農業」を実現します。

事業前
(現況)



「稼げる農業の実現」

事業後
(イメージ)



作業効率が改善され、
経営規模拡大が可能に！

耕作放棄地の
解消・発生防止！

基盤の整備により
農地の貸し借りが容易に！

宇城市マップ～Uki Map～



「昭和の農聖」松田喜一 ヒストリー

松田喜一は、宇城市松橋町出身の農業研究者（教育者、著述家）です。同氏は熊本県立農業学校（現：熊本農業高等学校）を卒業後、農商務省農事試験場九州支場を経て県立農事試験場技師となりました。この間、農業研究のために日本全国各地を巡り歩き「松田式麦作法」を考案しました。

また、試験場を退職後、民間農業実習所の開設、雑誌「農友」の執筆、八代地域の干拓事業に携わるなど戦後の食糧危機を救い、明治から昭和にかけて日本の農業発展に貢献し「昭和の農聖」と謳われました。

熊本県内には、松田喜一を象徴とする神社や石碑が多数存在します。

本事業において先人のたゆまぬ努力によって築かれた歴史と伝統を継承しながら、農業の振興と地域の活性化に向けて事業を推進して参ります。



松田喜一



記念碑（宇城市松橋町東松崎）

※営農風景。松田喜一：宇城市教育委員会資料提供

農林水産省 九州農政局 宇城農地整備事業所

〒869-0502 熊本県宇城市松橋町松橋357-1
TEL：0964-27-4436 FAX：0964-32-8228

事業所ホームページはこちら

URL：<https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/kokuei/28/index.html>



ホームページ
2次元バーコード

一般計画平面図

